

記者発表資料

平成25年3月4日

しまばらちゅうおうどうろ

国道251号島原中央道路の整備効果について

〔開通後5ヶ月〕

国土交通省雲仙復興事務所が整備を行った国道251号島原中央道路（延長 4.5km）は平成24年10月8日（月）に開通し、開通後は長崎県で管理を行っていますが、開通後5ヶ月が経過し、整備効果として把握出来た内容についてお知らせします。

【島原中央道路の整備による交通状況】

- ・ 島原中央道路の交通量は約1万台/日。
- ・ 並行する道路の交通量が減少。
- ・ 島原南部から諫早方面への走行時間が約11分短縮。

【主な整備効果】

効果1 企業活動を支援

- ・ 走行時間が短縮することにより業務が効率化。

効果2 救急医療活動を支援

- ・ 救急搬送時の患者の負担軽減等。

効果3 島原市内の混雑緩和

- ・ 並行する道路の交通混雑が緩和。

効果4 市民生活の安全性・利便性が向上

- ・ 朝、夕の通学路における通過交通が減少し、安全性が向上。
- ・ 朝、夕の並行道路における交通量が減少し、路線バスが円滑に運行。

効果5 島原半島での大規模イベント開催に貢献

- ・ 島原市内で開催された全国和牛能力共選会による交通混雑を抑制。
- ・ 遠方からのサッカー大会参加者からも便利になったとの声。

問い合わせ先



国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所
TEL: 0957-64-4171 (代表)
技術副所長 山口 正二 (内線204)
道路課長 桜井 敏郎 (内線411)
ホームページアドレス: <http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>

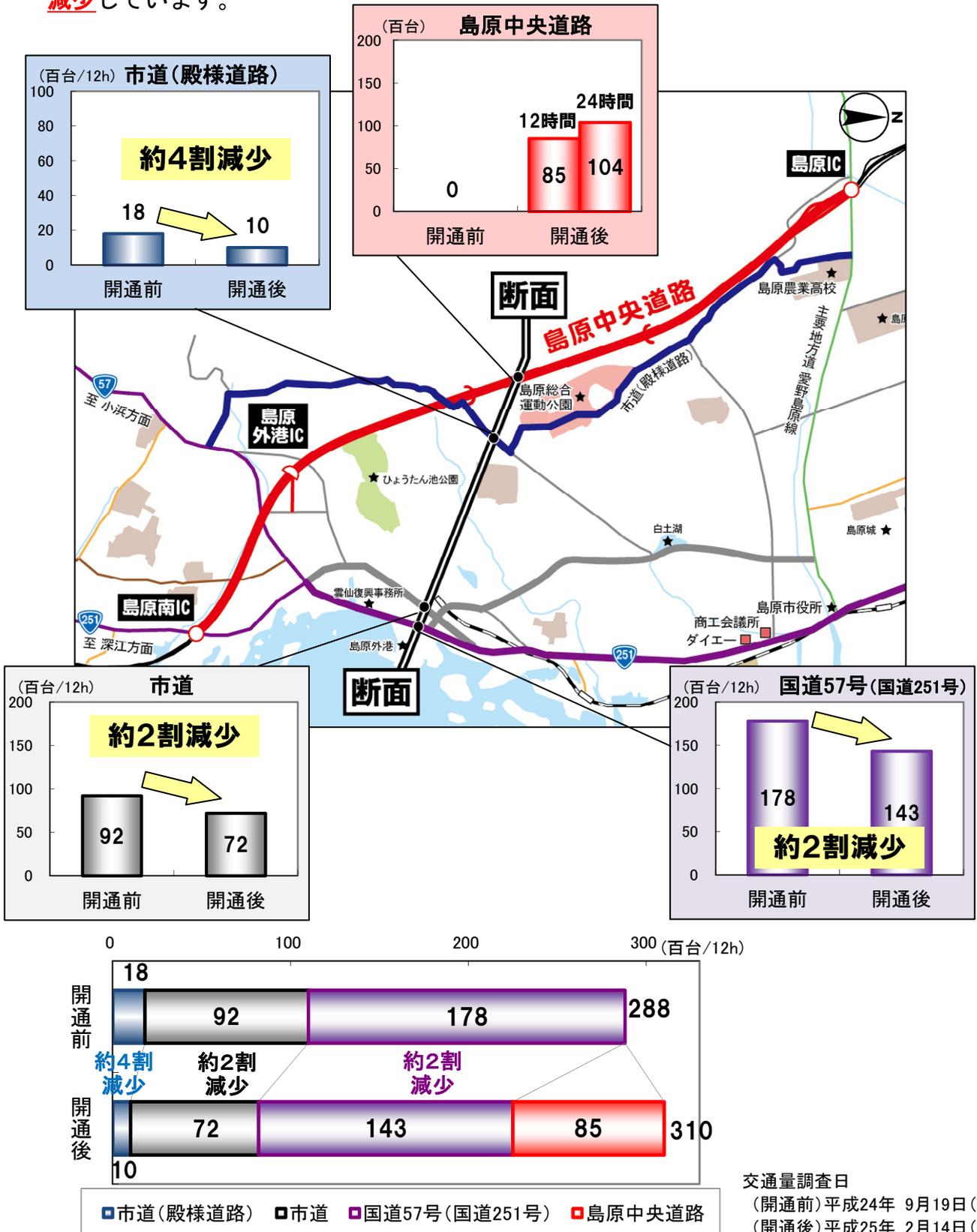
2. 島原中央道路の整備による交通状況

①島原中央道路の交通量は約1万台！

○島原中央道路は、12時間*で約85百台、**24時間*で約104百台の交通量が利用**しています。
 (*12時間：7時～19時、24時間：7時～翌日7時)

②一般道の交通量が減少！

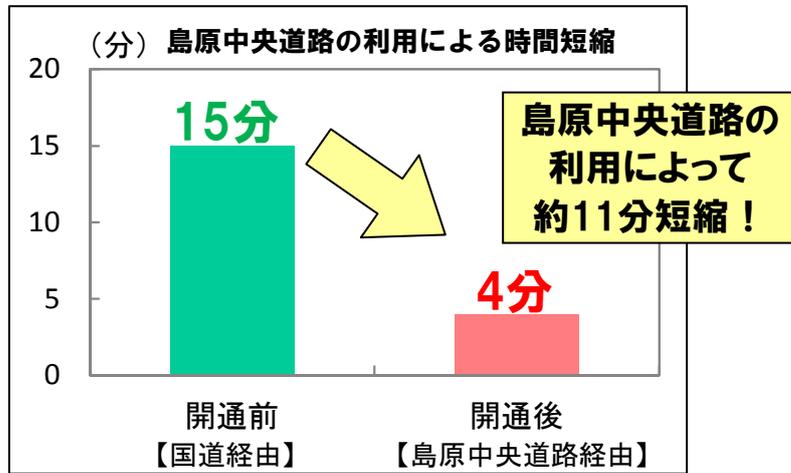
○島原中央道路を利用することにより、**並行する一般道路の12時間交通量が約2～4割減少**しています。



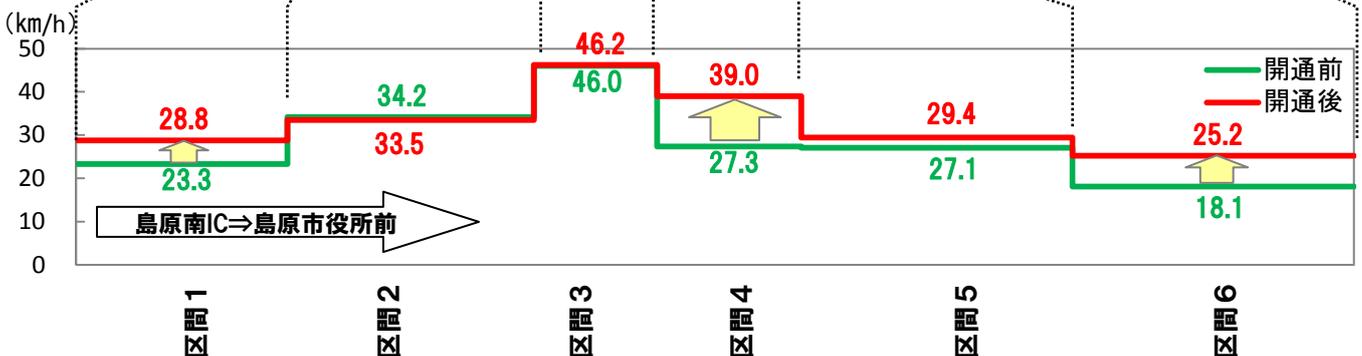
▲主要路線の交通量の変化

③島原中央道路の利用で、島原市内を通過する時間が約11分短縮！

- 島原中央道路の利用により、**島原南部から諫早方面への走行時間が約11分短縮**し、島原市内を通過する交通の利便性が向上しています。
- 交通量が減少した島原中央道路に並行する国道では、**走行速度が向上**しています。



▲島原南IC → 島原ICの走行時間の変化 (朝7時台)



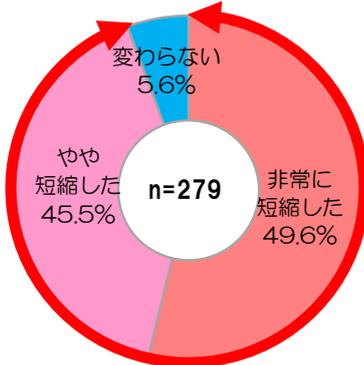
▲島原南IC → 島原市役所前の走行速度の変化 (朝7時台)

3. 主な整備効果

①企業活動を支援！

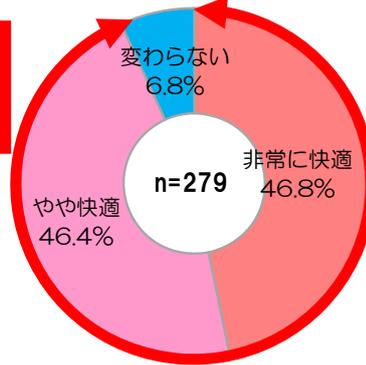
- 島原中央道路の開通後に行ったアンケート結果では、**走行時間の短縮および移動時の快適性向上を約9割の回答者が実感**しています。
- 企業への聞き取り調査から、配送時間の短縮による**業務効率向上・残業時間短縮など企業活動のコスト縮減**の効果を把握できました。

Q.島原中央道路の開通後、目的地までの時間は短縮しましたか？



回答者の約9割が走行時間の短縮を実感！

Q.島原中央道路の開通後、目的地までの移動は快適になりましたか？



回答者の約9割が快適な走行を実感！

島原中央道路開通に関するアンケート調査
 対象：島原市・南島原市に通勤の従業員及び家族
 配布票数：625票
 回収票数：279票 (H25. 2. 21現在)
 回収率：45%

資料：島原中央道路開通に関するアンケート調査

●地域の企業活動に与えている効果



これまで、商品である手延素麺を会社から島原新港の青果市場に配送する際に、**有家（南島原市）～島原新港間の配送で往復約90分**かかっていました。開通後は**60分以内**で戻って来るようになり、**配送時間が短縮した分、内業時間が増え業務効率が向上**しました。

(南島原市手延素麺製造企業)



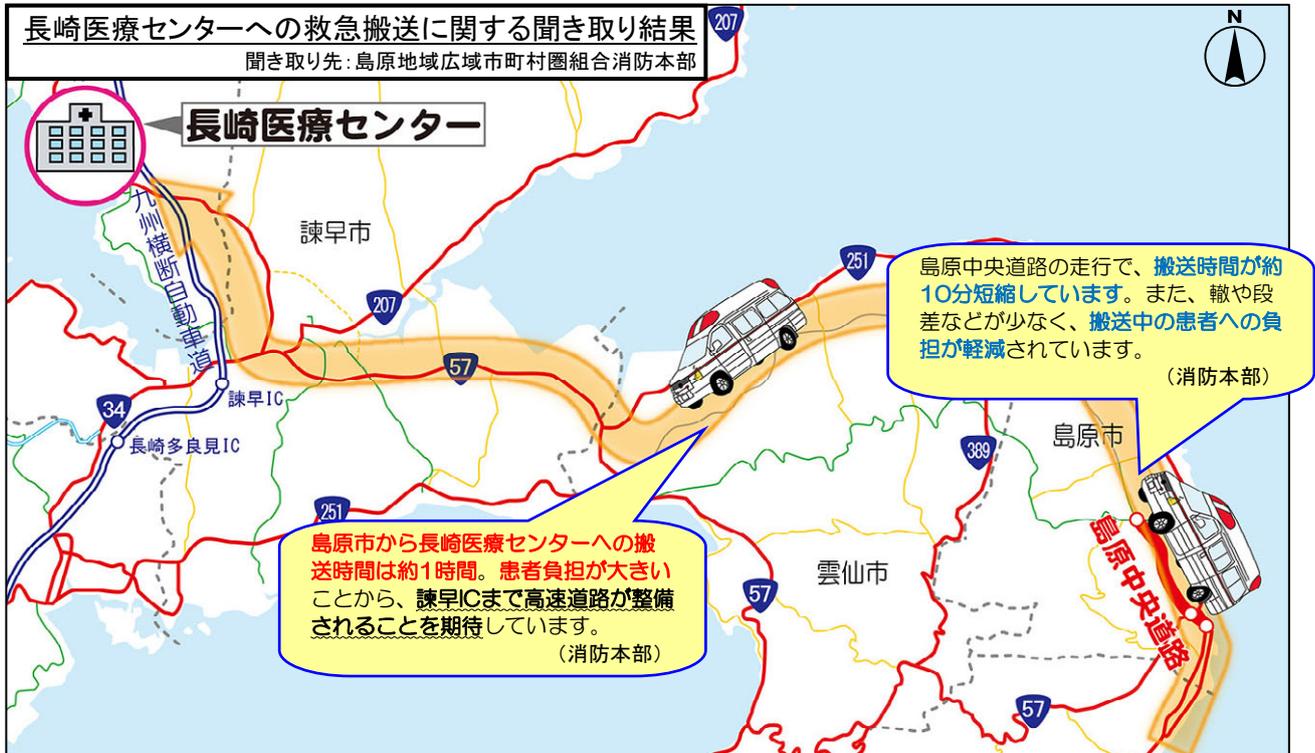
島原中央道路の利用で配送時間が短縮し、**配送先からの戻りが早くなったため、残業時間が減少**しています。走行時間の短縮により走行燃費も向上している等、企業活動への影響が大きく働いています。

(島原市内物流企業)

②救急医療活動を支援！

●島原半島外への救急搬送について

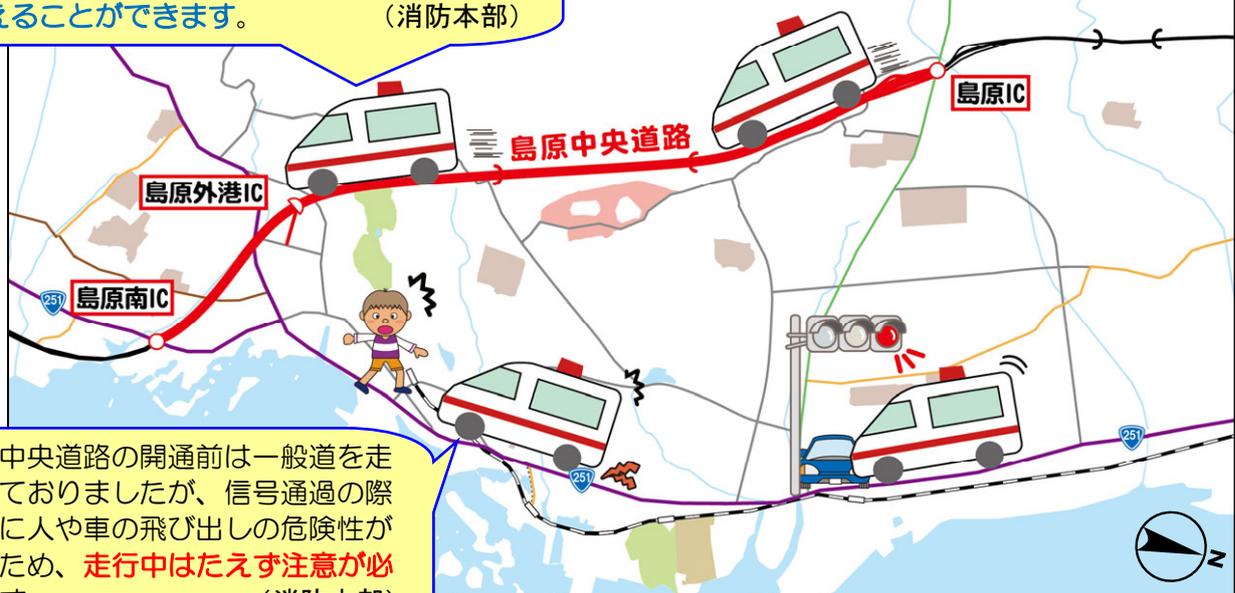
○島原半島から長崎医療センター（3次救急医療施設）へ、1日に2回以上の救急搬送が行われますが約1時間もの搬送時間を要しておりました。島原中央道路の供用により、走行時間が11分短縮したことで、**いち早い患者の治療に寄与**しています。



●島原市内への救急搬送について

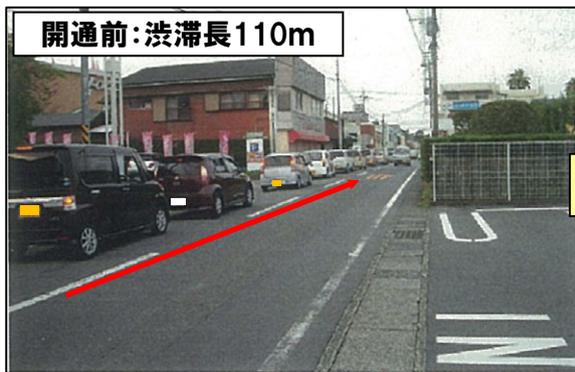
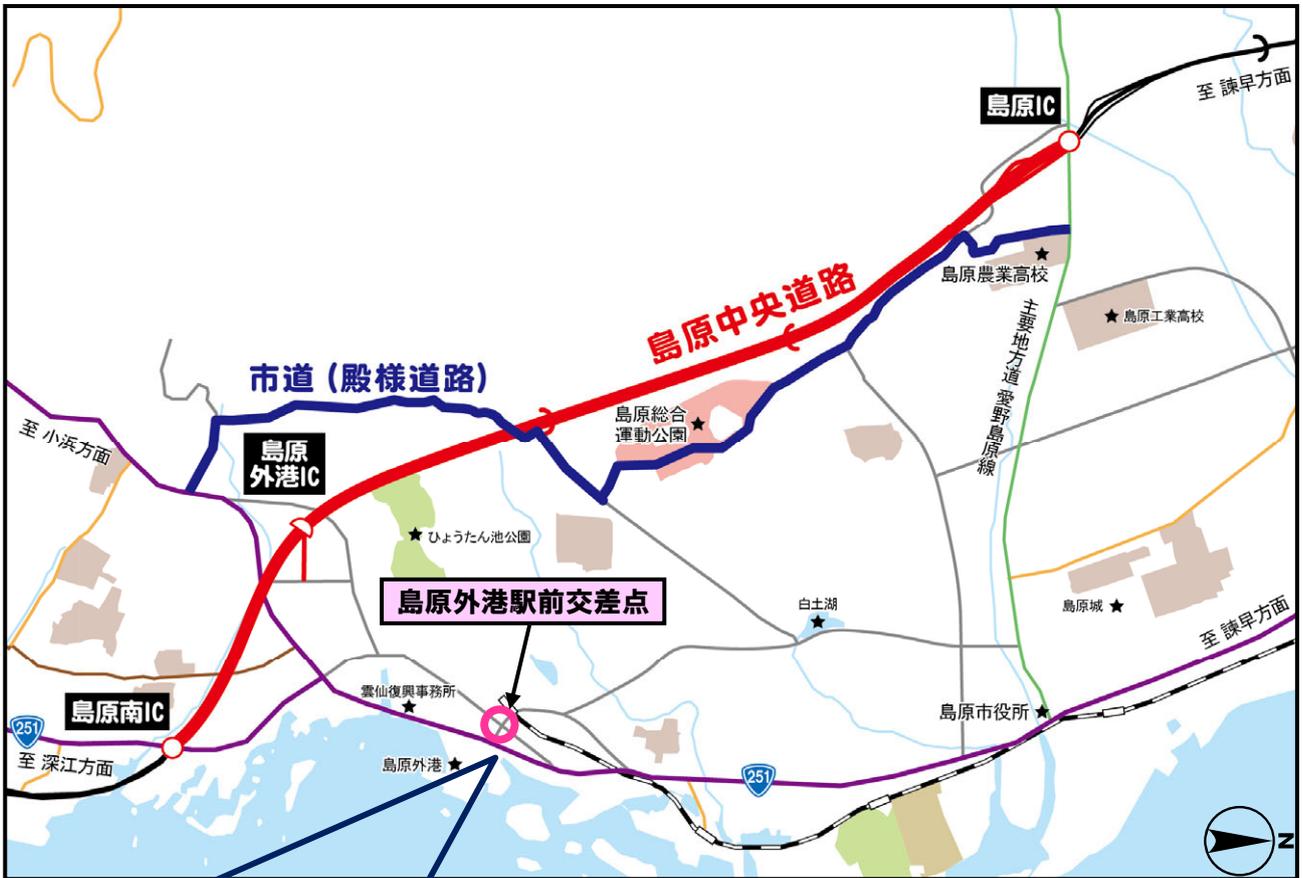
○島原市北部から島原外港IC付近の小児科に救急搬送する際に、島原中央道路が利用されています。島原中央道路を走行する際は、道路の段差や信号の停車・発進、人や車の飛び出しが少ないため、**搬送患者の負担軽減につながっています**。

島原市北部から島原外港IC付近の小児科に救急搬送する際に、島原中央道路を利用します。段差やわだちが少なく、**走行中の揺れを最小限に抑えることができます**。（消防本部）

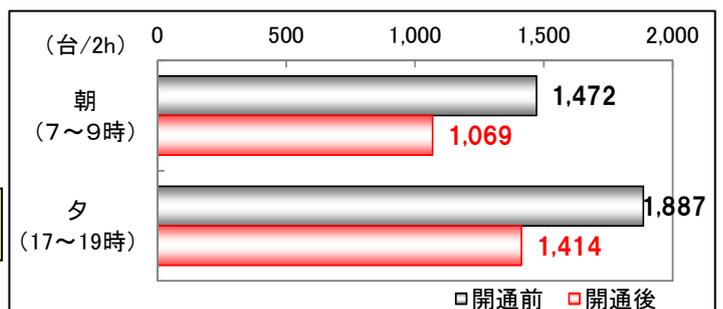


③島原市内の混雑が緩和！

- 島原中央道路に並走する道路では、**朝・夕の交通混雑時の利用交通量が大きく減少**しています。
- 島原外港駅前交差点等で発生していた**朝・夕の混雑が緩和**しました。



▼島原外港駅前交差点流入交通量の変化

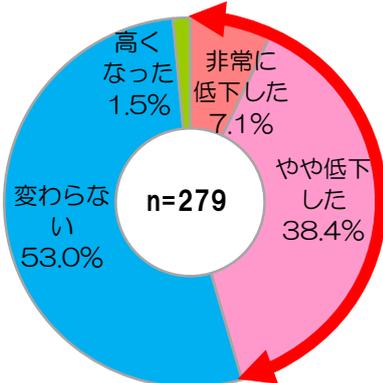


交通量・渋滞状況調査日
 (開通前) 平成24年 9月19日 (水)
 (開通後) 平成25年 2月14日 (木)

④市民生活の安全性・利便性が向上!

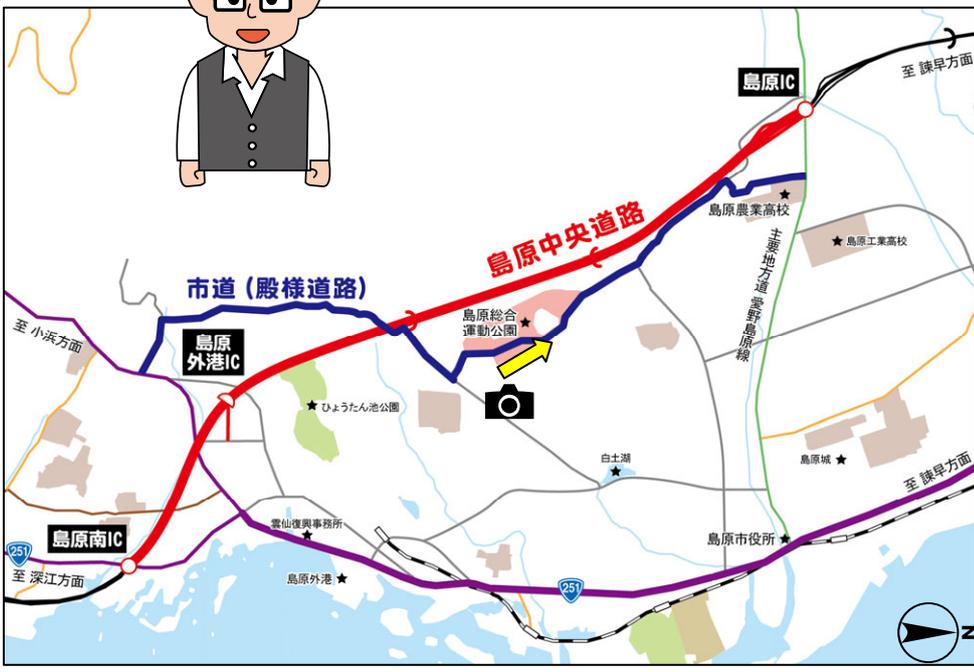
- 中高生の通学路とされている殿様道路では、島原中央道路への交通の転換によって、交通量が減少し、**通学路の安全性が向上しました。**
- 島原中央道路への交通の転換により並行する国道の混雑が緩和し、**路線バスの遅れ時間が短縮**する等、公共交通がより円滑に運行できるようになりました。
- 島原中央道路の開通後に行ったアンケート結果では、**一般道の混雑緩和を7割の回答者が実感、事故の危険性低下を5割の回答者が実感**しています。

Q.島原中央道路の開通によって、一般道の事故の危険性はどのように変化しましたか?

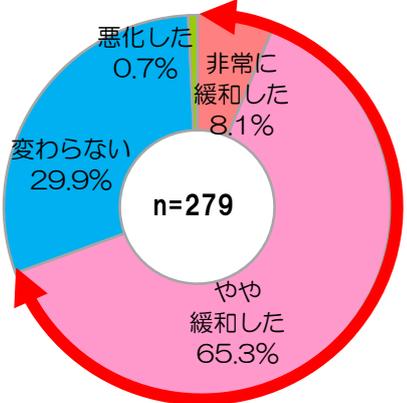


回答者の約5割が事故の危険性低下を実感!

生徒の通学路となっている殿様道路は、車同士がすれ違うことも困難な狭い道路で、**車と生徒が接触する危険性を感じていました。**島原中央道路開通後は、**交通量が減少したため通学時の安全性が高まりました。** (中学校教頭)



Q.島原中央道路の開通後、一般道路の混雑は緩和しましたか?



回答者の約7割が混雑緩和を実感!



開通以前は、国道251号を走行する通勤時間帯の**路線バスが10分ほど遅れて到着**していましたが、**島原中央道路開通後は遅れ時間が短縮し、バスの定時性が大きく向上**しました。(島原鉄道バス)



朝夕ラッシュ時に国道251号や白土湖通りの**混雑を避けるため抜け道**を利用していました。島原中央道路開通後は、**市内の混雑が緩和したため、幹線道路である国道251号を通行**するようになりました。(タクシー運転手)

⑤島原半島での大規模イベント開催に貢献！

●和牛の祭典の開催について

○島原中央道路開通後の平成24年10月26日からの3日間、島原市の島原復興アリーナにて、第10回全国和牛能力共選会【和牛の祭典】が開催されました。**3日間で約69,000人の観光客が訪れる大規模イベント**となりましたが、島原中央道路の開通により、**島原市内の交通混雑を抑制でき、円滑にイベントを開催できました。**



島原復興アリーナは高速道路からすぐの位置にあるので、観光客は島原中央道路でスムーズに会場までアクセスできるようになりました。島原中央道路が開通したので、**和牛の祭典開催時にも島原市内の混雑を抑制できました。**

(島原半島ジオパーク推進連絡協議会事務局)

●サッカーの大会開催について

○島原市は、Jリーグクラブがキャンプ地として利用するなどサッカーが盛んな地域です。また、島原復興アリーナに併設する多目的広場には4面のサッカー場があるため、様々なサッカーの大会が頻繁に開催され、遠方からたくさんの方が訪れています。

○大会が開催された際に、**遠方から訪れた方から便利になったとの声をいただいています。**



昨年12月に島原復興アリーナで約70校が集まる中学サッカーの大きな大会がありました。島原中央道路を通られたチームの先生方から、『**早く到着できるようになった**』、『**会場までの道がわかりやすくなった**』などの声をいただきました。

(中学校教頭)